

優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

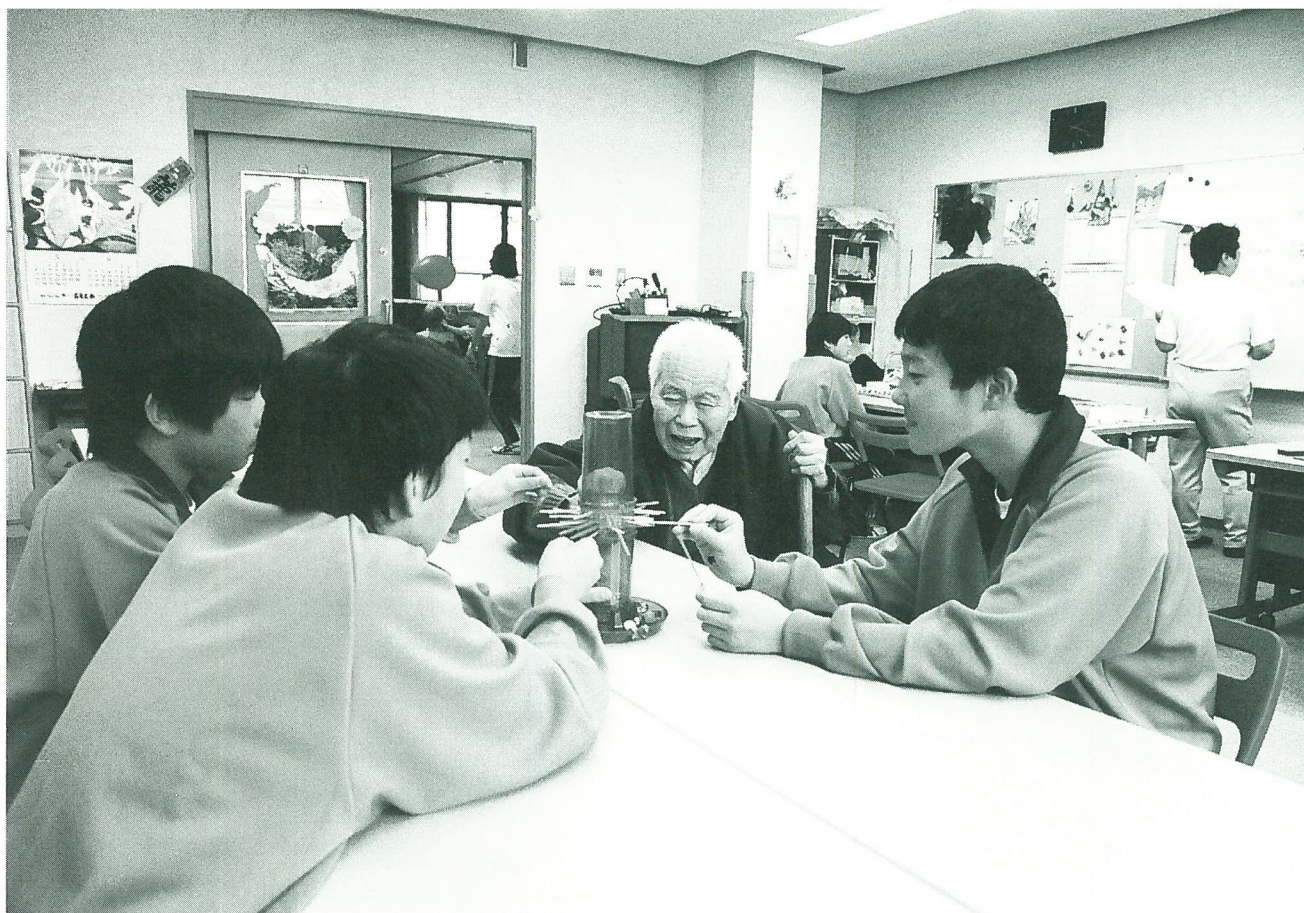
# まほろば

ふれあいネットワーク

## 社協広報

第23号

### 山形村配食サービス事業の開始



### いっぺんに孫たちが増えちゃった気分！

鉢盛中学校の生徒が福祉交流活動の一環として、山形村社会福祉協議会のデイサービスセンターを訪れました。施設での奉仕活動（草取り、窓拭き）や利用者の皆さんとの交流等は、生徒たちにとって普段体験できないメニューばかり。施設を利用している方々も大勢の生徒たちに囲まれ、楽しいひと時を過ごしていました。

写真／ふれあいの館・談話室にて

# 美味しいお弁当をお届けします。

## 山形村配食サービス事業の開始

本年の5月より、山形村社会福祉協議会では、村からの受託事業として、配食サービス事業を開始しました。

この事業は、介護予防・生活支援事業の一環として、山形村において計画されたものです。社会福祉協議会では、本事業の受託にあたり、調理業務を通所事業部門の食事サービス提供と併設して実施できるよう業務調整をすると共に、配食業務（配達及び弁当箱の回収）を松本地域シルバー人材センターに委託し、安定した事業運営ができるよう、配食システムの整備を行いました。

村では、今後この事業の利用希望等をみながら、段階的な調整を行っていく方針であるとのことですが、在宅の高齢者・障害者等の在宅生活を支援する新たなサービスメニューとして大いに期待されています。社会福祉協議会としても、栄養バランスのとれた美味しい食事の提供につとめて行きたいと思っております。

### ■配食サービス事業の概要

生活支援型の配食サービス／配食サービスには、ボランティア活動の一環として「ふれあい・交流」を主な目的とし行われているものもありますが、今回開始された配食サービスは、在宅の高齢者等の生活支援を目的に行われています。現在のところ、月曜日・水曜日・金曜日（祝祭日・年末年始休業を除く）の週3回、昼食の配食を行っています。（利用1回あたり400円）

配食サービスの対象者／この事業の利用対象者は、次のとおりです。

- (1) 村内に居住する者で、おおむね65歳以上でひとり暮らし及び高齢者世帯、又は身体に障害があつて調理が困難な者
- (2) その他村長が特に認める者

■問い合わせ／役場保健福祉課 ☎98-3111

## 心温まる配食弁当

5月より開始された配食サービスの調理を担当させていただいています杉山です。スタートして1ヶ月半程が経過しましたが、山形村における配食サービスという新たな事業に、少しでも貢献できるよう心がけています。そして何よりも利用者の方々の生活支援という部分も含め、より満足していただける食事の提供をする為に、精一杯努めたいと考えております。

第1に「安全な食事」の提供に努めます。食べるものには様々な危険要因が含まれています。そういったことに十分な注意を払った上で調理を行い、100%安全だと言える食事を提供します。

第2に「美味しい食事」の提供に努めます。この「美味しい」と言う意味の中には、味はもちろん見た目も含まれると思います。見て楽しく温かみを感じ、食べてなお美味しかったと満足して頂けるよう心がけています。

今後、利用者の方々からの意見も随時取り入れて、改善して行くべきところは改善し、新たな要望があれば導入し、より満足して頂ける食事の提供を行っていきたいと思っております。今後ともご指導の程宜しくお願い致します。

日清医療食品株式会社中部支店／杉山 瑞恵



## 配食サービスの利用者からの声

彩りのバランスもとてもいいし、薄味で栄養満点！という感じだね。

S.S.

値段も手ごろでとても美味しい。色々考えて作ってくださっているようで、ありがたいです。

S.N.

自分で料理を作るのはねー。男は苦手な分野だから助かるよ。ぜいたくは言わない方だが、美味しいし、値段もいいぐらいだね。

M.S.



彩り豊かな配食弁当

やわらかく煮てあるし、手が不自由だから、食事をちょうどに作れなくて大変だったから、ありがたいです。

F.K.

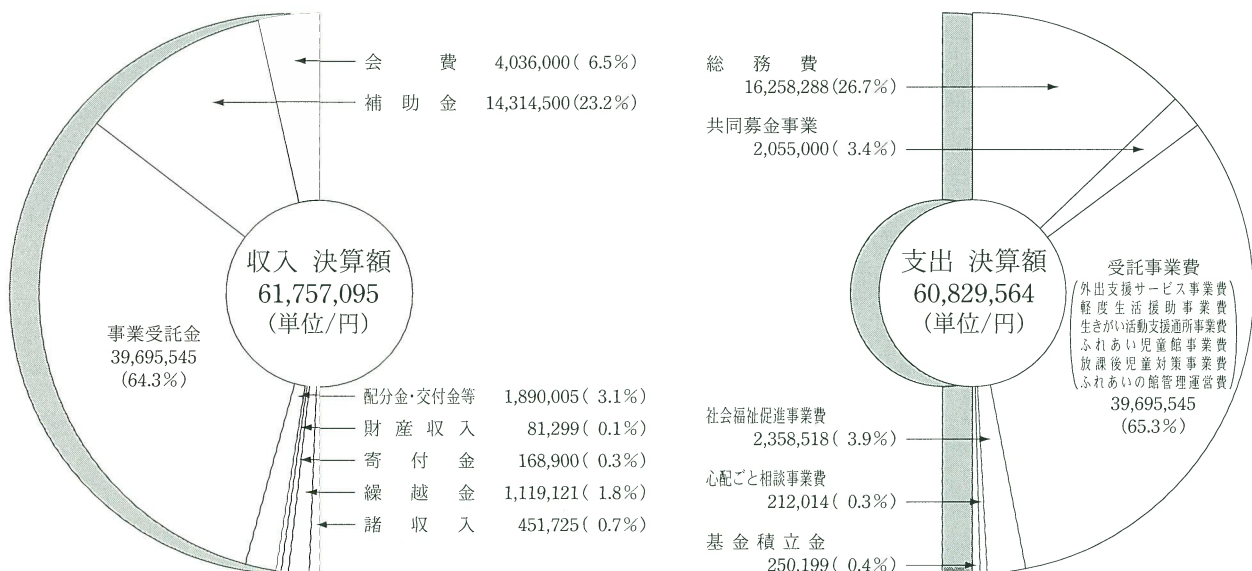
## 配達担当からの感想（シルバー人材センター派遣員／百瀬明男さん）

お届けしたとき皆さんから「すごく美味しいよ」「ありがとうございます」などと言われます。配達していても、とても気分がいいです。

皆さんとても楽しみに待っていてくださるので、せっかくきれいに盛り付けてあるものがこぼれたりしないように、気をつけて運転しています。

## 平成12年度山形村社会福祉協議会一般会計決算の報告

去る5月29日、平成13年第2回山形村社会福祉協議会評議員会において、平成12年度の社会福祉協議会事業報告並びに一般会計及び特別会計の決算が承認されました。一般会計決算の概要は次のとおりです。（特別会計決算の概要は記載省略）



▲平成12年度山形村社会福祉協議会一般会計決算の概要

## 「食」の大切さ

山形村食生活改善推進協議会々長

長嵐みつる（上竹田／四ッ谷上）



山形村の食生活改善推進協議会では「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、「食」を通して地域における健康づくりのためのボランティア活動を行っている団体です。

私たちの活動は、先づ県の委託事業である松塩筑支部の伝達講習を受講することから始まります。それを更に村の「食改さん（会員）」に伝達講習します。そこで学習した在宅介護食や米を使った料理、牛乳料理等を、巡回教室や村社会福祉協議会が行う「いきいき料理教室」で調理（披露）し、美味しく心のこもった手作り料理として、会員と一般参加者で試食会をします。そんなふれあい活動も、私たちの好例の年中行事となっています。

また視察研修、ピアやまがたへのおやつ作りも行い、健康と福祉の集いでは、在宅介護食展示と試食コーナーを設置するなど、多彩な活動を行っています。この他年2回のテーブルマナーや、グランドゴルフの親睦行事では、一般の皆さんの参加も歓迎しています。

現在、食生活の様相は大きく変わって参りました。食材はあふれるばかりに店頭には並べられています。スーパーには、料理をしなくてもすぐ食べられる物が多くなり、家庭の食卓を占領するようになって参りました。

この高齢社会に、皆さまが健やかに生きていく為には、添加物のない食材や、新鮮な野菜・果物を使って献立を立てて戴きたいと思えます。最近、米の消費量が上がったといわれますが、中を見ますとコンビニエンスストアのおにぎりや、ファーストフードの牛丼のような物での消費拡大であるといわれています。ジャガイモの消費量の大半がファーストフードのフライドポテトだそうです。主食までが手作りでなくなってしまうということになりますと、不安を感じずにはおられません。

食べる事は人を幸せにします。人と人とのつながりを作る事にもなると思えます。食べる事に労力を使わなくても今ではお金があれば何でも食べられるという時代になりました。そうした中であって私たちが望むのは、誰もが手をかけ心を込めて調理ができ、家族揃って一緒に楽しく食べる機会がより多くつくられることです。そしてどここの家庭にあっても、心も体も健やかな生活が育まれることを、期待しています。

### ◇編集後記◇

あらためて食事を「食」として考えてみようと思ったとき、小学校の家庭科で習った5大栄養素のことを思い出しました。活動のエネルギー源となる糖質・脂質・蛋白質、骨や血液に働きかける無機質、体調を整えるのはビタミン類だったかなあ？ 普段これらを考えた上で料理をすることは難しいのですが、戦前・戦後の食べるものも十分になかった頃の日本の平均寿命に比べると、経済が発展し「食」も豊かになり、現在では30才近くも長生きのできる時代になりました。今の時代、よほど偏食でない限り、これらの栄養素は足り過ぎるほど摂れているそうです。長い人生の中で「食」を考えたとき、美味しいものを「美味しいなあ」と思って食べることのできる喜び、そのお手伝いのひとつとして、この度高齢者・障害者等を対象にはじめられた「配食サービス」に大いに期待したいと思えます。

編集人／社協N.

**まほろば**（社協広報／第23号） 平成13年6月29日発行

●発行所 社会福祉法人 **山形村社会福祉協議会**（ふれあいの館内）

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村3940番地の1 TEL 0263 (98) 3081 FAX 0263 (98) 3016

●印刷所 日本ハイコム株式会社